

入札状況の常時監視報告書 (令和4年度)

(概要版)

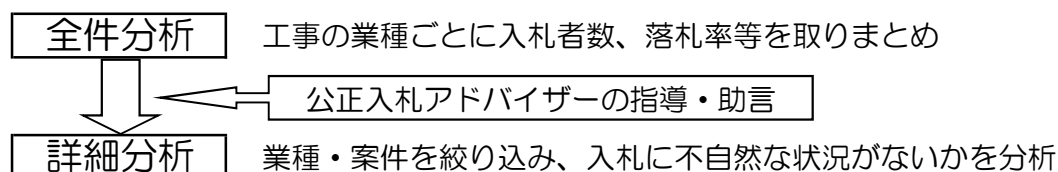
名古屋市

1 入札状況の常時監視の概要 (2~5ページ)

(1) 目的

- ・ 談合等不正行為の早期発見と抑止
- ・ 監視結果の公表による本市の入札、契約手続の透明性・公正性の向上

(2) 内容



(3) 結果

個別案件を抽出し、入札時に事業者が提出した総合評価落札方式における自己評価加算点申告表の内容について確認を行いました。

また、業種別に入札者数や落札率の変化を比較し、個別案件について分析を行いました。

2 入札状況の概要 (6~17ページ)

(1) 発注件数・落札金額

発注件数2,496件（30業種）のうち1,921件（76.9%）が一般競争入札

区分	平均入札者数	平均落札率
一般競争入札	8.2者	91.8%
指名競争入札	4.0者	92.4%

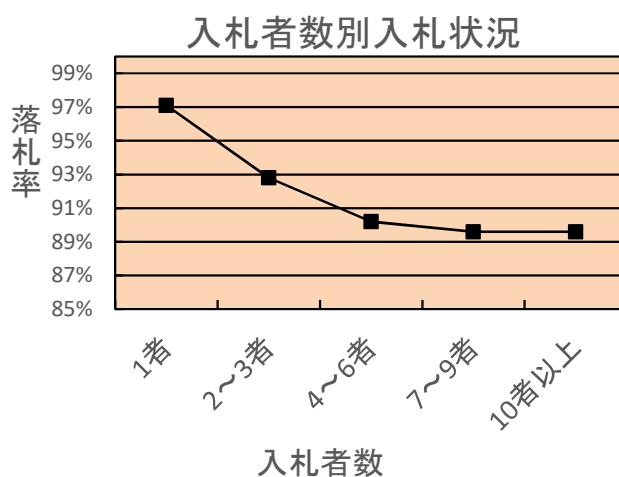
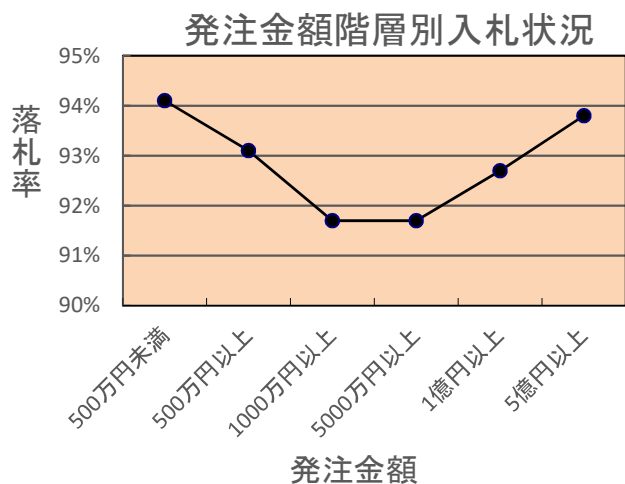
(2) 平均入札者数・平均落札率

①平均入札者数

- ・ 入札全体では、前年度と比べて0.1者多くなっている。
- ・ 前年度と同様、一般競争入札の方が指名競争入札に比べて多くなっており、その差は前年と同じである。（前年度 4.2者 → 令和4年度 4.2者）

②平均落札率

- 入札全体では、前年度と比べて0.9ポイント高くなっている。
- 前年度と同様、一般競争入札の方が指名競争入札に比べて低くなっているが、その差は縮小した。
(前年度 1.1ポイント → 令和4年度0.6ポイント)
- 発注金額階層別では、500万円未満や5億円以上の工事においてやや高い傾向が見られた。
- 前年度と同様、入札者数が多いほど低い傾向が見られる。



(3) 入札不調・再入札工事

①入札不調の発生状況

- 令和4年度の入札不調発生率は7.7%であり、前年度と比較して0.4ポイント減少した

②再入札工事

- 不調となった工事について、再発注後の入札者数と落札率を当初発注で入札が成立した工事と比較すると、平均入札者数は3.8者少なく、平均落札率は2.2ポイント高い